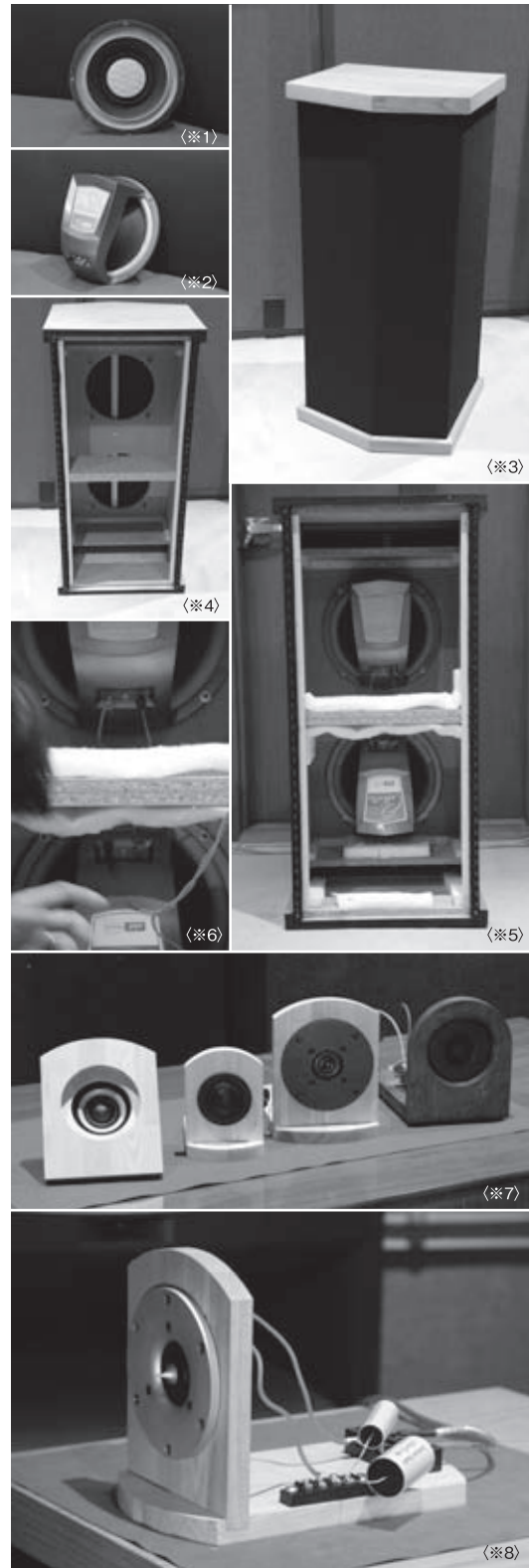


## SOUND CREATE Original Speaker 制作日記 UTAH

米国インディアナ州のメーカー  
【UTAH(ユタ)社】

元々はエレキギターやオルガンなど楽器用のスピーカーユニットを作っていたメーカーです。50年代アメリカではオーディオブームが到来し、元々シアターや楽器向けにプロ用のユニットを作っていたメーカーが各社の誇る技術を持ち合わせ、こぞってコンシューマー向けに小さくてもよく鳴るモノや廉価版などを作って販売していたのだそう。そんな中にごういう知られざる銘ユニットがあるわけです。



め、このユニットをダブルで使用し今までにないまことにオリジナルのスピーカーがここに誕生したのです！  
その完成への道のりをPOINTごとにご紹介させていただきます。

--- Point ① --- スタイル...  
現在のライフスタイルにもマッチさせるために、スタイリッシュな縦長のエンクロージャーを採用(※3・4)

--- Point ② --- 吸音...  
まずはユニットをエンクロージャーに配置しよう！2つのユニットの中心にあるため、音特に低域を打ち消し合い、歪みが生まれ音の繋がりが悪くなります。(※5)しかしエンクロージャーの補強(特に背面)のためには必要な中心板。そこで、吸音材をその補強板に巻き込むように施すことにより、中心板の存在を消して、内部のレゾナンスを解消します。(※6)

--- Point ③ --- ツイーター選び...  
UTAHだけでも資料上高域は18kHzまで上は出ていますが、現在のレンジの広いアンペアに合わせるため、更には、現代とツイーターのいいところを凝縮したスピーカーに仕上げるため、ツイーターを設置。今回のオリジナルスピーカーではエンクロージャーの内部に収める予定ですが、今回はスピーカーの上に置いての実験です。

--- Point ④ --- 吸音材...  
吸音材は、はじめはウール1000の素材(PARCAUDIO DDCPIA100ウール100)を使用していましたが、ポリ100(RITSELECT RIT10003/PW ポリ100)のほうが音の抜けが良く、全てポリ100を採用。

--- Point ⑤ --- ツイーター選び...  
UTAHだけでも資料上高域は18kHzまで上は出ていますが、現在のレンジの広いアンペアに合わせるため、更には、現代とツイーターのいいところを凝縮したスピーカーに仕上げるため、ツイーターを設置。今回のオリジナルスピーカーではエンクロージャーの内部に収める予定ですが、今回はスピーカーの上に置いての実験です。

広いアンペアで鳴らすにはこのエンクロージャーでは少し容積が小さいため、実際に音を聴きながら中心板以外の場所にも吸音材を配置します。吸音材を入れたら閉め、音を聴いての繰り返しで、一番時間がかかる作業ですが、この作業が最も大事なポイントなのです。

--- Point ⑥ --- ツイーター選び...  
UTAHだけでも資料上高域は18kHzまで上は出ていますが、現在のレンジの広いアンペアに合わせるため、更には、現代とツイーターのいいところを凝縮したスピーカーに仕上げるため、ツイーターを設置。今回のオリジナルスピーカーではエンクロージャーの内部に収める予定ですが、今回はスピーカーの上に置いての実験です。

Jensen E1000のツイーターを試しました。もちろんウエスタンのオイルコンデンサー。  
結果はクオリティーは高いもののまだ高域が足りない。そこで「Jensenのツイーターに足す」というかたちで3つのメーカーのツイーターを用意(※7)

--- Point ⑦ --- ツイーター選び...  
UTAHだけでも資料上高域は18kHzまで上は出ていますが、現在のレンジの広いアンペアに合わせるため、更には、現代とツイーターのいいところを凝縮したスピーカーに仕上げるため、ツイーターを設置。今回のオリジナルスピーカーではエンクロージャーの内部に収める予定ですが、今回はスピーカーの上に置いての実験です。

ということで、SCAN SPEAKのツイーターに決定！(※8)  
あまりのクオリティーの高さにJensenのツイーターがいらなくなりまして  
--- Point ⑧ --- コンデンサー...  
ツイーターの繋がり調整するために、コンデンサーを使い、ローカット周波数を調整。帯域がかぶりすぎるとポーカーがこもってしまう。逆だと繋がりが悪くなる。ネットワーク設計の計算式をフル活用し絶妙な帯域を探ります。この作業が一番楽しいのです！今回のUTAHの場合、SCAN SPEAKは17kHzから上を受け持っています。次にコンデンサーの種類。最初は汎用の一般コンデンサーを試したところ、種類でかなり違いがでたため、オーディオグレードのコンデンサーを用意。(※9)

**実験内容**

- ① Jantzen Audio Z-standard  
おとなしいけどナチュラル
- ② Jantzen Audio Z-superior  
ナチュラルで抜けが良く音場が広い
- ③ Jantzen Audio Z-silver  
圧倒的なクオリティー。高貴な音
- ④ MUNDORF SUPREME SILVER/GOLD  
リアリティーがあり伸びがあるが少し華やか。



全員一致で③のコンデンサーに決定。  
このような作業によって、今までになく音楽的で素晴らしいスピーカーが完成いたしました。ヴィンテージスピーカーならではのハイスピード且つ厚みのある中低域、加えて、現代の音楽に合わせた高域の伸び！最強のスピーカーの誕生です。

## LINN MAJIK DSM と合わせて 100万円システム お薦めの新製品スピーカー



スピーカー左から  
PENAUDIO CENYA ¥577,500(スタンド ¥92,400) /  
ALBEDO HL2.2 ¥630,000 / LINN MAJIK ISOBARIK ¥630,000

ワンボックスにネットワークプレヤーからアンペアまで搭載。短いシグナルパスと駆動力のあるアンペアのおかげで、鮮度高くどんなスピーカーも申し分なく駆動するLINN MAJIK DSM。このコストパフォーマンスなコンポーネントに新製品のスピーカーを合わせてみました！  
フィンランドのペナウディオ「CENYA」イタリヤから初上陸のアルベド「HL2.2」。いずれもサイズ感の小ぶりの部類で、仕上げは美しく、スタイルッシュな外観はリビングにも馴染みます。音質はいずれも本格派。サイズからは考えられない空間再現を得意とし、音抜けのよいところは共通した美点。  
木のぬくもりを感じさせながら堅牢な筐体に取り付けられ

たシアーズのユニットが込みなく解像度高い再生をする。ペナウディオオプックシエルフ特有の定位感や音楽のまとまりのよさは同サイズ・同価格帯のスピーカーを上回り、音楽にボディ感があります。特にポーカーものの定位感は素晴らしい。端正ながら滑らかなうっとりさせる質感。スピーカーそのものの質の高さを物語ります。

一方、アルベドは開放的なサウンドステージと音の密度の濃さが魅力。12cmのウーファーで2ウェイ、細身のシェイプ...しかしか思えない雄大なスケール感。これはエンクロージャー設計の「トランスミッションライン」方式が抜群に成功している証拠。加えてセラミックコーンやパツフル面のユニット配置、キャビネットの傾き

等々全ての事柄が素晴らしい完成度で組み合わさっています。最低域は出ていないにもかかわらず、それを感じさせない低域と美しい中高域のつながりはフルレンジのごとく芳醇に鳴り、部屋の大きさを忘れるほど。広く深いサウンドステージで繰り広げられる音楽世界は、どっともゴージャス。キャビネットの大きさを超えた性質のスピーカーとして、LINN「MAJIK ISOBARIK」もお忘れなく。20cmユニット2基をタンデム駆動させ、ダイナミックな低域を再現。

各社それぞれの考えと技術を投入したスピーカー群、鳴りっぷりにはもはやサイズに比例するものではなくあります。真偽の程をご自身の愛聴盤で確かめ下さい！



※価格は全て税込です。

**SOUND CREATE** 〒104-0061 東京都中央区銀座 5-10-6 第一銀座ビル 7F  
Tel.0120-62-8166 <http://www.soundcreate.co.jp/>

**SOUND CREATE Legato** 〒104-0061 中央区銀座 2-4-17  
Tel.03-5524-5828 <http://www.soundcreate.co.jp/legato/>

営業時間：12：00～19：00 定休日：毎週火曜日/第2、第3月曜日(祝日の場合第1月曜日に振替)

【取り扱いブランド】  
LINN/PIEGA/B&W/ELAC/Davone/JBL/Raidoh Acoustics/Sonus faber/Mark&Daniel/Anthony Gallo/HARBETH/OCTAVE/NuForce/TRIGON/N-mode/QUADRASPIRE...etc  
(ヴィンテージ各種)